【一般質問通告書（集中質問）】（令和8年9月定例会）

質問順序	質　問　者	質問の要旨	具　体　的　内　容
1	戸匹　映二	1.　災害時における避難者への支援について	(1)　指定避難所の体制について ①　現状の臼杵市の指定避難所、福祉避難所の体制についてお伺いします。 ②「乳幼児や妊産婦」を受入対象とした避難所、または18歳未満の子どもを持つ家族を対象とした母子避難所の準備も必要と考えますが、市のご見解を伺います。 (2)　車中泊避難者への支援について ①　様々な理由から避難所には入れず、車中泊を余儀なくされてしまう車中泊避難者への支援の考えをお伺いします。 ②　車中泊避難者の把握ができやすくするため、車中泊避難者専用の駐車場をあらかじめ市が指定する取組が必要と考えますが、市のご見解を伺います。 (3)　防災マニュアルについて ①　防災マニュアルは随時更新し、デジタルデータで常に最新の情報を市民に周知・啓発できるようにしていく必要があると考えますが、市のご見解を伺います。
2	山手　耕	1.　災害時における避難所の生活環境整備について	(1)　避難所の空調・シャワー等の整備について (2)　設備の「有無」ではなく、その「能力」について
3	平川　幸司	1.　臼杵市の防災について	(1)　臼杵市指定避難所の環境について (2)　ペットとの避難について
4	宗　和義	1.　大規模災害への本市の対応について	(1)　大規模災害時に備えた避難所の整備状況と備蓄倉庫の設置状況について (2)　大規模災害時の避難所の開設及び運営について ①　誰が避難所を開設するのか ②　運営は誰がどのようにするのか

【一般質問通告書】（令和8年9月定例会）

質問順序	質　問　者	質問の要旨	具　体　的　内　容
1	内藤　康弘	1.　臼杵市の防犯カメラ設置補助金制度について	市民の身近で起きる犯罪を抑止するため、24時間撮影が可能である防犯カメラは、犯罪の抑止効果の他にも、犯罪発生時には容疑者の特定にも役立つなど、安全で安心して暮らせるまちの実現に大きな役割を果たすものである。臼杵市の取組について伺う。 (1)　臼杵市の防犯カメラの設置状況について (2)　防犯カメラを設置するにあたっての補助制度について
		2.　臼杵市のたばこ税について	たばこ税は、国全体で約2兆円の税収があり、そのうち地方税として約1兆円が地方自治体の税収であり、臼杵市としても貴重な財源である。以下伺う (1)　過去3年間のたばこ税の税収の推移について (2)　令和6年に総務省より「地方たばこ税の安定的な確保と望まない受動喫煙対策の推進のための分煙施設の整備促進について」という、通知が各自治体にあったが、臼杵市の取組は、どのようなものか
2	保毛津林太郎	1.　水道事業経営と水道料金の見直しについて	(1)　過去の経営判断および施設更新抑制の検証について ① 過去の投資抑制と現在の資金不足・大規模更新集中との因果関係についてどのように分析・検証しているかお伺いします。 (2)　水需要急減に伴う水道施設の適正規模化（ダウンサイジング）と統廃合について ① 令和6年度決算における施設利用率が39．33％と過大な設備能力を抱える中、将来の人口・水需要減少に見合った施設の縮小・統廃合等の具体的計画についてお伺いします。 (3)　水道料金約20％引き上げ案の妥当性について ① 今回の改定試算（20％引き上げ）は、市独自で積算したものか、それとも専門の建設コンサルタント等の第三者機関へ委託して作成したものかお伺いします。 ② 料金改定案の策定にあたり、学識経験者や市民代表等による第三者審議会等での客観的な検証・審議を経ているかお伺いします。 (4)　持続可能な水道事業における今後の見通しについて ① 中山間地域における安定給水の確保と小規模水道対策についてお伺いします。 ② DX（デジタル技術）及び新システム等の導入検討と広域連携による経営効率化について市のお考えをお伺いします。
3	広田　精治	1.　会計年度任用職員の給与改定時の遡及適用について	本市は正規職員の給与の改定にあたって、その適用時期を改定日の属する年度の4月に遡及して適用してきた一方、会計年度任用職員の給与改定にあたっては遡及適用しない扱いをしている。以下、伺う。 (1)　県内外の他の自治体の遡及適用の令和7年度実績について。 (2)　会計年度任用職員の給与改定にあたっては正規職員同様、遡及適用するべきと考えるが、検討は行われているか。
		2.　臼杵市社会福祉協議会への本市発注の委託事業に係る消費税の取扱い及び無申告について	臼杵市社会福祉協議会（以下、社協という。）の消費税の無申告問題などについて、以下伺う。 (1)　消費税導入から37年が経過。今回の対応（＝直近6年分のみの期限後確定申告・納付）によって結果的に不問とされるのは何年分か。 (2)　課税取引とされた生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者就労準備支援事業、市民後見センター運営業務について、最も古い本市の発注年度は。 (3)　他に物品販売などの課税取引はなかったか。 (4)　社協において長期間にわたり「消費税の無申告」という事態が続いてきた原因についての市の認識。 (5)　本市発注の委託事業の消費税課税関係を判断する部署は。 (6)　他の自治体の社協の消費税の確定申告・納付の現状について。
		3.　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について	(1)　臼杵市に対する交付限度額と関連する実施事業への県からの補助金額、本市のこれまでの活用額。 (2)　エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援事業のうち農業者に対して実施した事業の概要について。 (3)　プレミアム商品券事業の取扱店の指定について、農産物生産者の庭先販売の扱いについて。 (4)　物価高騰の中、市民と事業者支援の課題認識、今後の国の動向を伺う。

【一般質問通告書】（令和8年9月定例会）

質問順序	質　問　者	質問の要旨	具　体　的　内　容
4	戸匹　映二	1.　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した臼杵市の物価高騰対策について	(1)　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した臼杵市の物価高騰対策のこれまでの取組と今後の計画をお伺いします。 (2)　物価高騰対策として住民税非課税世帯やひとり親世帯への給付金の形での支援も必要と考えますが、市のご見解を伺います。
5	山手　耕	1.　臼杵市の地域公共交通施策について	(1)　収支率と利用者1人当たりの市負担額について (2)　現行計画と現在の交通施策から見える課題について
		2.　情報の取扱いについて	(1)　情報の取扱いとPDCAサイクルについて
6	匹田　久美子	1.　臼杵市学校給食センターの今後について	現状の学校給食センターは、施設・設備の老朽化と、防災上の観点から、建て替えや移転整備が喫緊の課題であると考え、その方向性を問う。 (1)　学校給食センターの老朽化の状況、及び浸水リスクについて、どのように認識しているか。 (2)　今後の学校給食センターの建て替えや、移転・再整備に向けて、どのような方向で考えているか。
		2.　身近な環境問題としてのごみの分別推進の徹底・生ごみ減量について	令和9年度の新環境センターへの移行を好機に、環境アクションとして、市民がごみの分別徹底や減量に取り組めるよう、周知・定着を図ってほしい。そのための取組を聞く。 (1)　新環境センター稼働に向けたごみ分別の周知について ① 現状とどのように変わるのか ② 市民にどういう方法でお知らせするのか (2)　可燃ごみの減量のための「家庭用生ごみ処理機」の利用拡大について ① 現在の利用状況 ② 購入補助金の周知・拡充について
7	安東　鉄男	1.　小・中学生の学力の現状分析と向上のための取組、及び今後の展望について	本年4月に実施された「大分県学力状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」の結果も踏まえ、臼杵市の児童生徒の学力の現状と向上のための具体的な取組、更には今後の展望について以下の3点について伺う。 (1)　臼杵市の児童生徒の学力の現状分析について (2)　臼杵市が目指す資質・能力と具体的な授業改善策について (3)　学校統合及び小中一貫校設置を見据えた今後の展望について
		2.　プレミアム付商品券について	7月から今月末までの間、国の物価高騰対策として、本市でもプレミアム付商品券を、これまでの紙ベースでは30％のプレミアム率で全体の4割、デジタルでは40％のプレミアム率で全体の6割の配分で発行した。 その結果、デジタル商品券は完売に至らなかったと聞いている。そこで以下の2点について伺う。 (1)　デジタル商品券を導入した意義について ① 目的 ② プレミアム率を高く設定した狙い ③ デジタル化への第一歩としての、今回の事業の位置づけについて (2)　現時点で見えている課題について ① デジタル商品券に売れ残りが生じたことに対する市の受け止め ② 操作や利用のハードルに対する市民からの声の把握について ③ 今後のデジタル施策に生かすべき課題について
		3.　水道料金改定について	本市においても、人口減少に伴う料金収入の減少や、高度経済成長期に整備された管路・施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、水道事業を取り巻く経営環境は年々厳しさを増している。将来にわたり安全な水を安定的に供給し続けるため、施設の耐震化や更新を計画的に進め、自立した経営基盤を確立しなければならないという事業所の危機感と立場については、私も深く理解している。 しかしながら、水道料金の改定は市民生活の根幹に関わる極めて重大な問題である。特に昨今は長引く物価高騰が家計を直撃しており、市民生活は厳しい状況に置かれている。 水は生きていく上で片時も欠かすことのできない「命の水」であり、公営企業として事業の持続可能性を追求すると同時に、市民の生活実態に寄り添った丁寧な説明と、生活弱者へのきめ細やかな配慮が不可欠である。 こうした観点から、以下2点について伺う。 (1)　意思決定プロセスにおけるパブリックコメントの結果とその反映について (2)　高齢者や低所得者世帯など、生活弱者への配慮について

【一般質問通告書】（令和8年9月定例会）

質問順序	質　問　者	質問の要旨	具　体　的　内　容
8	河野　巧	1.　臼杵市が求める地域おこし協力隊について	総務省が推進する国の制度に、都市部から過疎地域などの地方へ住民票を移し、地域活性化や住民支援の活動を行いながら定住を目指す「地域おこし協力隊」があり、臼杵市でも平成26年度よりこの制度を活用しています。最近は募集をかけても集まらない状況が続いていますが、現状と今後について伺います。 （1）現状について ① 臼杵市が「地域おこし協力隊」に求めてきたもの ② 成果と定着率 ③ 募集の内容について （2）　今後について
		2.　デジタル地域通貨について	国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、各地でプレミアム付商品券の販売が行われています。臼杵市でも第9弾から紙の商品券に加え、デジタル商品券の導入が始まりました。第9弾の実績と第10弾の現状を踏まえ、その後に導入検討を進めているデジタル地域通貨についての考えを伺います。 （1）　プレミアム付商品券の現状について （2）　デジタル地域通貨の構想について
9	芝田　英範	1.　地域振興について	（1）　旧野津高校跡地の振興策について ① 福祉実習棟の活用について ②「のつてらす」への進入路について （2）　野津若者定住促進住宅用地について ① 住宅地の分譲状況について
		2.　野津東部工場用地の企業誘致について	（1）　企業誘致の取組状況について
10	平川　幸司	1.　脱炭素社会の取組について	（1）　臼杵市バイオマス産業都市構想について ① 現状について ② 課題について ③ 今後の取組について （2）　再生可能エネルギーについて ① 現状について ② 課題について ③ 今後の取組について